

隠岐大峯山風力発電所について

1. 施設概要

- 場 所 : 隠岐の島町西村大峯山山頂 (牧野)
- 規 模 : 出力 600kW×3 基 計 1,800kW
- 運転開始 : H16 年 2 月 1 日
- 発 電 量 : 年間 5,100,000kWh (約 1,500 世帯分に相当)
- 目 的 : 新エネルギーの開発・推進
県民の環境保全意識の高揚
観光資源としての活用
国内風力黎明期での先駆的な役割 (パイロット)

2. 建設経緯

- H 9.12 京都議定書(COP3)締結(地球温暖化防止に向けた CO2 削減目標を設定)
- H11. 3 島根県地域新エネルギー導入促進計画策定(全庁)
隠岐、島根半島、江津・浜田の 3 地域を建設候補地として選定
隠岐地域は風況が良く、経済性が圧倒的に優位
- H11. 8 企業局が隠岐で現地調査開始
- H12. 1 隠岐で風況観測開始(~H13.10)
うち H12.11~H13.10 は、大峯山で NEDO と共同調査(100%補助)
- H13. 5 大峯山での開発に絞込み
上記目的を達成するうえで、風況・採算面から最も優れた地点と判断
- H13. 8 発電設備機種の検討(~H13.11 企業局発電設備機種選定委員会)
- H13.10 国の電気設備技術基準等に基づくシステム検討を開始(NEDO 補助)
- H14. 3 本工事予算を議会議決
- H14. 8 NEDO 地域新エネルギー導入促進事業で補助採択
- H14. 9 電気事業法の工事計画審査・受理(国)
建設工事に着手
- H16. 2 営業運転開始
- H16. 4 電気事業法の安全管理審査に合格(国)

3. 運転開始後の状況

- ・ 雷や乱流等、離島特有の厳しい気象条件による想定以上の被害に対応
- ・ 雷被害で得た知見や経験を江津高野山風力発電所の雷害対策に取り入れ対策強化
- ・ 知見を HP 等での公表、国の技術指針への反映により、他事業者の風車建設に貢献

4. 今後の対応

・ 1号機

増速機ギヤの損傷により、H28. 4月 取替修理を実施 運転良好

・ 2号機

増速機の定期点検において、ギヤの劣化・摩耗の進行を確認 経過観察中

故障停止に至る前に増速機を交換し、運転継続

修理費用 64,800千円 (H28～H29)

・ 3号機

増速機ギヤの劣化・摩耗により異音が発生し H28. 6月に運転停止

新たな大規模改修を行った場合、赤字幅が拡大のため廃止・撤去

